

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

## 農林畜産食品部プレスリリース (2017年6月3日21時55分付け) AI危機警報「警戒」に上方修正、全国の伝統市場とガーデン型レストランの 生きている家きん取引禁止

出典URL:

[http://www.mafra.go.kr/list.jsp?&newsid=155449425&section\\_id=b\\_sec\\_1&pageNo=1&year=2017&listcnt=10&board\\_kind=C&board\\_skin\\_id=C3&depth=1&division=B&group\\_id=3&menu\\_id=1125&reference=2&parent\\_code=3&popup\\_yn=N&tab\\_yn=N](http://www.mafra.go.kr/list.jsp?&newsid=155449425&section_id=b_sec_1&pageNo=1&year=2017&listcnt=10&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=2&parent_code=3&popup_yn=N&tab_yn=N)

(機械翻訳等に基づく仮訳)

農林畜産食品部(以下、農食品部)は、済州市地鶏AI疑い畜中間検査の結果(H5N8型)に関連して、6月3日、「家畜防疫審議会(家きん分科会)」を開催し、「危機警報段階調整」などについて審議したと明らかにした。

主な審議議決の結果は以下の通りである。

- 6月4日0時からAI危機警報の段階を「注意」から「警戒\*」に上方修正
  - \* 警戒段階の危機警報発令時、全国の市道(市郡)のAI防疫対策本部と状況室稼働、発生地域及び隣接地域の主要道路に制御警戒所を設置、全国畜産農家の集会自制(発生地域は、会議の禁止延期)措置等実施
- 6月5日0時から全国の伝統的な市場とガーデン型レストランにおける生きている鶏などの家きん取引禁止

審議委員は、AI疑い畜が済州と全羅北道群山市の2つの地域でほぼ同時に発生し、疫学的に関連地域に拡散する可能性があり、今回AI疑い申告が生きている家きん取引業者を通じて流通され、伝統市場で販売する農家や取引業者の係留場を中心に伝播される可能性があるかと判断した。

農食品部は、高病原性か否かはまだ確定されたわけではないが、先制的に防疫措置を強化していることを明らかにし、畜産業界の積極的な協力を要請した。